

しょうわ  
議会だより

第 32 号

平成17年

1月25日

12月定例議会

輝け昭和

おもな内容

「議長・副議長・各常任委員会の  
構成が変わりました」 (2~4ページ)

12月定例会で決めたこと・1月臨時会 (5~7ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (10~11ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (13~14ページ)

## 議長・副議長・各常任委員会の 構成が変わりました。

### 就任のあいさつ



議長 澤 浦 誉 由

皆さん、明けましておめでどうございませう。

このたびの議長改選に伴い、はからずも私が議長に選任されました。

もとより浅学非才な私ではあります。議長という重責を誠心誠意全力で務めたいと思っております。村民皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ

します。

今、全国の市町村は合併問題や三位一体の改革の方向定まらぬなか、諸問題に悩み動揺しています。

我が昭和村におきましては平成15年12月の議会におきまして自主自立を議決しました。

その後、各種の行財政

改革に努力し、現在に至っております。

これからも時代的背景のなか、厳しい道を歩まなければならないが、将来を見据えて希望ある、活力ある昭和村づくりに努力したいと思ひます。

村民皆様のご協力を心よりお願ひしまして就任の挨拶といたします。



副議長 小 野 一 男

此のたび議員の推薦により任期2年の副議長を務めることになりました。

もとより、その任は重く身に余る大役でございますが、皆様のご指導、ご協力をお願いし、精一杯頑張るつもりです。

昭和村も自主自立の道を決めてから、早くも1

12月定例会は12月8日(水)から16日(木)までの9日間の会期で開催しました。報告事項1件、補正予算を含む議案5件、人事案件2件が村長から提出されました。また、本会議途中において、吉野議長から辞職願ひが提出され、受理されたのち、正副議長選挙が日程に追加されました。

その後、昭和村議会史上初めて2年で交替した議長により、任期満了による委員会委員の選出、議員発議2件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。最終日の一般質問には2名が登壇し、村の姿勢を問ひました。

年が経過し、国は赤字財政修復のため、三位一体の改革を行い、補助金と地方交付税を削減してき

ました。それにより、人口の少ない、農業を基幹産業とする自主財源の少ない村では特に財政が厳しくなる事が予測されま

す。ですが、私たち議員は、

村民皆様が安心して生活でき、将来に向かって希望の持てる村づくりを行う責務があります。議会

も「村づくり特別委員会」で真剣に討議を重ねております。私も微力ではありますが、独自性を持つた希望ある村づくりに尽力する覚悟ですのでよろしくお願ひいたします。

## 退任のあいさつ



前議長

吉野 藤彦

退任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

この度の村議会常任委員  
員会改選に伴い議長の職  
を辞任いたしました。振  
り返りますと、この2年

間は昭和村の将来を左右  
する町村合併問題に奔走  
する毎日であり、合併が  
自立かで全議員が真剣に  
討論を行い、住民アンケ  
ートの結果を尊重し、自  
主自立の道を選択いたし  
ました。

議長就任に際し各常任  
委員会の2年交代を決定  
し、実現することができ  
ました。議会史を塗りか  
える決断であります。議  
員各位が広く議会活動を行  
えらると確信しております。

す。また、自立に向け議  
員報酬の20%削減、議員  
定数も4名減の12名に  
と、思い切った行政改革  
も断行できました。

現在村では自主自立に  
向け、厳しい財政の中、  
いかに住民サービスを低  
下させない村づくりをす  
るために、議員一丸とな  
って第4次総合計画を検  
討中であります。村民各  
位におかれましても今後  
の議会活動にご理解いた  
だき、ご支援、ご協力を  
お願いいたします、また大過  
なく議長職を終えられた  
ことに心から感謝申し上  
げ退任のあいさつといた  
します。

## 総務常任委員会

委員長 古澤 昇

この程、総務常任委員  
会委員長としてお世話に  
なることになりました。  
事の重大さを感じている  
次第であります。自主自  
立に向けての村づくりに  
皆さんと共に頑張ってい  
く所存であります。ご指  
導とご協力をよろしくお  
願ひいたします。

副委員長 藤井 富夫  
委員 横坂 幸也  
委員 石井 清司  
委員 関上 正雄  
委員 澤浦 誉由

## 産業建設常任委員会

委員長 治田 貞賢

12月議会の委員会構成  
の再編により、産業建設  
常任委員長を仰せ付かり  
ました。自主、自立の道  
を歩むと決めた本村も地  
方分権と交付税の削減と

副委員長 堤 盛吉  
委員 吉野 藤彦  
委員 竹之内 章  
委員 金子 松二郎

## 民生文教常任委員会

委員長 金井 正夫

改選により、民生文教  
常任委員長に就任いたし  
ました。幅の広い分野で  
ですが、委員の皆さんと良  
く協議し、村民皆さんが  
安心して暮らせる昭和村  
になるよう努力していき  
たいと思います。ご指導  
、ご協力をお願い申し上げ、  
就任のあいさつといたし  
ます。

副委員長 林 幸司  
委員 保坂 初次  
委員 高橋 幸一郎  
委員 小野 一男

## 議会運営委員会

委員長 竹之内 章

此の度の議会構成の再  
編に伴い、議会運営委員  
長を拝命いたしました。  
国、地方とも、財政難  
の時、自立に方進を決め  
た本村議会の責務は重大  
なものがあります。議会

副委員長 高橋 幸一郎  
委員 古澤 昇  
委員 治田 貞賢  
委員 金井 正夫  
委員 横坂 幸也

# 12月定例会

## 特別委員会

### 昭和三村総合開発対策

委員長 林 幸司  
副委員長 石井 清司  
(委員は議員全員)

### 村づくり対策

委員長 金子 松二郎  
副委員長 保坂 初次  
(委員は議員全員)

### 赤城西麓

### 土地改良事業対策

委員長 関上 正雄  
副委員長 堤 盛吉  
(委員は議員全員)

### 昭和三村議会広報編集

委員長 保坂 初次  
副委員長 石井 清司  
委員 横坂 幸也  
委員 金井 正夫  
委員 藤井 富夫  
委員 澤浦 誉由  
委員 小野 一男

### 昭和三村農業集落排水

### 事業対策

委員長 横坂 幸也  
副委員長 高橋 幸一郎  
(委員は議員全員)

よろしくお願  
いいたします。



議会各常任委員会構成の再編に伴い、議  
会選出の委員等も改選されました。

### 利根沼田広域市町村圏 振興整備組合議会議員

新 小野 一男 議員  
前 澤浦 誉由 議員

### 昭和三村監査委員

新 小野 一男 議員  
前 澤浦 誉由 議員

### 昭和三村農業委員 (議会推薦)

新 治田 貞賢 議員  
前 古澤 昇 議員

### 昭和三村消防委員 (議会推薦)

新 古澤 昇 議員  
新 横坂 幸也 議員  
前 小野 一男 議員  
前 金子 松二郎 議員

### 12月定例会 議会日程

12月8日(水)	本会 議	12月11・12日(土)・(日)	休 会
	各常任委員会	12月13日(月)	産業建設常任委員会
	議会運営委員会	12月14日(火)	民生文教常任委員会
	各特別委員会	12月15日(水)	総務常任委員会
12月9日(木)	休 会	12月16日(木)	村づくり対策特別委員会
12月10日(金)	村づくり対策特別委員会		議会全員協議会
	議会全員協議会		議会広報編集特別委員会
	議会広報編集特別委員会		本会 議

# こういことが 決まりました

## 12月定例会

内閣総理大臣  
ほか関係省庁に

### 意見書を提出しました

議員発議

#### 平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書（抄）

「三位一体の改革」は、真の地方分権の確立に向けた改革であり、地方公共団体が自主的・自立的な財政運営を行えるようにするための改革である。

「三位一体の改革」に係る政府・与党合意は、地方交付税の改革として、「平成17年度、平成18年度は、地域において必要な行政課題については、適切に財源措置を行なうなど、「基本方針2004」を遵守することとし、地方団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税、地方税などの一般財源の総額を確保する」、また、「基本方針2004」は、「財政力の弱い団体においては、税源移譲額が国庫補助負担金の廃止、縮減に伴い財源措置すべき額に満たない場合があることから、実態を踏まえつつ、地方交付税の算定などを通じて適切に対応する」と明記しているところである。これは平成16年度の地方交付税について理不尽にも大幅な削減が行なわれ、我々の国に対する信頼関係を損ねたことの反省に立って、明記させたものと理解している。

かつて、景気浮揚対策等で実施した公共事業の償還がピークにかかっており、交付税も見合った額が来るものと信じており、ここに来て、交付税の削減を受け、その処置に苦しんでいる。

よって平成17年度の地方交付税は、平成16年度の轍を踏まぬよう、国と地方の信頼関係の構築に努め、少なくとも平成16年度以上の総額を絶対確保するよう強く要望する。

平成16年12月16日  
群馬県利根郡昭和村議会

#### 「三位一体改革」の農林水産関係国庫補助負担金改革による補助金廃止ではなく、統合交付金化等を図り農業・農村の現場で必要な施策が講じられるよう措置を求める意見書（抄）

「基本方針2004」の決定を受け、地方6団体がとりまとめた国庫補助負担金の改革案において、農林水産関係では35事業、3,088億円の国庫補助金が移譲対象としてリストアップされております。

（中略）

つきましては、三位一体改革における農林水産関係の国庫補助負担金改革にあたって、下記の点について特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

農業・農村の持続的発展のためには、国の農業関係補助金は不可欠であり、「三位一体改革」の国庫補助負担金改革では、廃止ではなく、農林水産省が平成17年度概算要求に盛り込んだ統合交付金化、省庁連携強化などの措置により地域の自主性や裁量が十分発揮できるような仕組みへの転換をはかり、農業・農村の現場で必要な施策が確実に講じられるよう国が責任をもって措置する。

また、農業関係補助金だけでなく、医療関係補助金や農住まちづくり関係補助金も廃止対象にされており、あわせて廃止しないこと。

平成16年12月16日  
群馬県利根郡昭和村議会

報告

#### 昭和の森（有）決算・清算

昭和の森（有）が行っていた「昭和の森ゴルフ場・山荘」の管理運営は、指定管理者制度への移行により、昨年7月から指定管理者（グリーンスコール株式会社）が行っています。そこで平成16年4月から7月までの3カ月分の決算報告と、同年6月28日の社員総会において解散を決定した後、諸手続きを経て同年9月28日、清算終了となり、残余財産である269万1千229円を出資比率に応じて分配する旨の清算報告がありました。

#### 条例改正

#### 福祉センターの運営が今まで以上に自主的に行えることになりました。

現在、昭和村総合福祉センターの管理運営については、社会福祉協議会に委託し、その利用料金は村の収入として経理し管理運営に必要な費用を委託料として支払うことで運営されています。

今回の改正で、利用料金が受託者である社会福祉協議会の収入となるため、創意工夫を生かした福祉サービスの向上が期待されます。

（全員賛成）



# 人事

## 選挙管理委員選挙

選挙管理委員会委員及び同補充員の任期満了に伴い選挙を行った結果、次の方々が当選しました。

### 選挙管理委員

- 星野寛司氏 (富戸)
- 諸田富美雄氏 (入原上)
- 小池政弘氏 (松ノ木第二)
- 山口義一氏 (永井下)

### 同補充員

- 横坂庄三氏 (田岸)
- 加藤英利氏 (宿)
- 林豊朋氏 (生越)
- 飯塚賢司氏 (追分)

## 監査委員に小野一男議員

議会常任委員会委員改選に伴い、議会選出の監査委員に小野一男氏(宿)が選任されました。

## 補正予算

### 一般会計

## 観光トイレが設置されます

おもに、望郷ライン沿い(中野下地区)の観光トイレの設置工事費や大河原小学校体育館の耐震補強工事のための委託料の増額で、歳入・歳出そ

れぞれ1千153万8千円を追加し、予算総額は44億3千312万8千円になりました。

(全員賛成)

### 特別会計

#### ―簡水会計―

おもに営農飲雑用水整備事業の配水管布設に伴う舗装本復旧工事費の増額で、歳入・歳出それぞれ2千500万円を追加し、予算総額は1億3千997万2千円になりました。

(全員賛成)

#### ―農集排会計―

おもに農業集落排水事業の新規加入者の増に伴う増額で、歳入・歳出それぞれ100万円追加し、予算総額は3億6千841万6千になりました。

(全員賛成)

## その他

### 群馬県市町村総合事務組合の規約変更

平成17年2月13日から群馬県市町村総合事務組合の組織団体である白沢村及び利根村が廃され、その区域が沼田市に編入されることや、それに伴

い沼田市外三箇村清掃施設組合の名称が沼田市外二箇村清掃施設組合に変更されるため等の規約変更です。

(全員賛成)

## 全員協議会から

▽10月24日(日)

10月23日に発生した新潟県中越地震による村内の被害状況について、施設等、担当課長から報告があり、その後現地の調査を行いました。

また、昭和村防災計画の充実強化を求め、住民の安心・安全のため、災害発生時に際し、各地区の避難場所や緊急連絡先など皆さんにお知らせし、地域住民にいち早く情報提供ができるように今後の対応策について協議しました。

▽12月6日(月)

議会各常任委員会委員の2年任期が12月10日をもって任期満了を迎えることに伴い、議会構成の再編について協議しました。

吉野議長から、議長職の辞表を提出する意志表明がされ、今議会構成当初から各議員がより多くの委員会を経験することにより、明るく開かれた議会を目指していく全議員の意志により、議長・副議長をはじめ、それぞれ委員会の所属替の案が出され、本会議にて決定する旨の確認がされました。

▽12月10日(木)

村内の国有地である赤線・青線用地の全てを国から村へ無償で移管されたことにより、昭和村公共物用途廃止等に関する規則を制定し、その村有地となったものを、住民が必要とした場合、隣接

その後、「地方交付税所要総額の確保に関する意見書」について協議し、国へ提出する方向に決定しました。



# 特別委員会のうごき

## 人づくりを基本に

## 後継者ののこれる

## 村に！

### 1月臨時会

平成17年第15回臨時会1月7日（金）午後3時30分から開催されました。人事案件1件、議案2件が上程されすべて原案のとおり可決しました。

### 人事

#### 教育委員会 委員に

角田氏が

再任

教育委員会委員の任期満了に伴い、現教育長である角田侃男氏が再任されました。ひきつづき今後も教育行政充実のため、活躍されることを期待します。

（全員賛成）



### その他

#### 第1分団と第2分団の ポンプ車購入契約を締結

◎消防ポンプ車（第1分団に配備）  
平成16年度群馬県消防施設整備事業からの補助を受けて購入するもので、1千509万9千円で（株）モリタ（東京都港区）が指名競争入札で落札し、契約となりました。

◎消防小型ポンプ付積載車（第2分団に配備）  
平成16年度電源立地地域対策交付金事業の補助によ



▽12月10日（金）  
第3次総合計画検証を行い、各課長より実施達成した事業内容、また基本計画への対応について報告がありました。  
その後、第4次総合計画策定のための住民アンケート調査報告書について説明があり、質疑については、後日行うことにしました。

▽12月16日（木）

第3次総合計画、基本計画について村長、助役、各課長委員全員の出席のもと、農業集落排水・望郷ライン・赤城西麓等、各事業の実施状況が説明されました。また、オフ・トークがテレドームに変更

わり、なお、緊急時には消防団員へ情報をメール送信する形になっていきます。農用地の適正な保全、インターチェンジから望郷ラインまでの森下1号線の拡幅など活発な意見交換がなされ、3時より本会議のため、後日、再度協議を行う事にしました。

▽12月17日（金）

昨日に続き、第3次・第4次総合計画策定のための住民アンケート調査結果報告書をもとに、協議を行い、人づくり・行政改革・企業誘致・後継者ののこれるよう村民と行政が一体となつて人づくりを考へて進めていくための、さまざま意見が出され終了しました。



▲昨年11月に開催された全国消防操法大会に群馬県代表として第1分団が出場しました。

# 常任委員会のうごき

本委員会は、12月15日に開催、慎重審議をした結果、「消火栓設置の要望について」では先に現地調査を行い、設置要望箇所（吹張地区）は、農業振興地域からの除外化が進み、次、三男の宅地用地となり、本村の目指す人口増につながる地区でもあり、将来を見越しての消火栓の設置に全会一致で採択としました。

## 総務常任委員会

次に、安全で安心な村づくりの推進条例の制定に関する要望書では、群馬県においては警察の活動だけでなく、市民・事業者・行政が一体となった取り組みが必要なことから群馬県では6月に「群馬県犯罪防止推進条例」が施行されており、市町村単位での条例化を進め犯罪や火災等の被害をひとつでも減らし、安全で安心して暮らせる「村づくり」のためという趣旨であり、全会一致採択としました。

次に、安全対策に関する要望書では、横断用安全旗については、総務課で対応済みであり、横断歩道の設置については村当局の判断だけで決定することができなく、県の公安委員会との協議が必要であり、子どもたちの

安全通学のために全会一致で採択としました。審議終了後、総務課から、「昭和村の財政状況について」と「平成17年度当初予算編成基本方針」等の説明、続いて税務課から、村税の収入状況の説明を受けました。また、大河原地区の村営借り上げ賃貸住宅（3LDK一戸建て）の建設予定地へ行き進捗状況の説明を受けました。



▲吹張地区

本委員会は、12月14日、開催しました。付託案件については、まず最初に受理番号76号、子どもたちの健やかな成長を保障するために教育諸条件の整備を行い、教育基本法を守り生かすことを求める請願については、前回9月定例会からの継続審議になっており、村当局からは「教育基本法は教育の柱であり、教育現場に携わってきた者として不自由は感じない」との参考意

## 民生文教常任委員会



▲特別養護老人ホーム「花の苑」を見学

見に対し、昨今の犯罪の低年齢化は、ゆとり教育の弊害ではないか、また、時代の変化にあう教育基本法であって良いのではないかと、様々な意見が交わされましたが、重要な問題でありもう一度調査研究をしてからの結論でよいとの意見で全会一致継続審査といたしました。

し、保育の質の低下をまねくので絶対やめてほしい等の趣旨であり、本年度から、公設の部分の保育園運営費については、補助金でなく一般財源化となり、民間保育園運営費については、H17年度については現行のままというのだが、この先、子育て保育園の運営もあるので、全会一致で趣旨採択としました。

その後、本村でも着工し、平成17年8月から運営予定になっている特別養護老人ホーム「菜の花館」の参考に、沼田市戸鹿野町にある、「花の苑」施設見学をして参りました。

# 産業建設委員会

本委員会は、12月13日に開催し、付託された請願・陳情について現地調査のうえ、慎重審議を行いました。

受理番号83号の補助治山事業の継続については、水と緑を守りながら、山地災害復旧と再発防止に向けての事業は継続実施を願いたいことから、全会一致趣旨採択としま

した。9月定例会から継続審査となっていた受理番号78号、スーパーL資金農林漁業金融公庫融資に関する利子補給の件では、村当局が許す範囲での新しい利子補給のあり方を考えていくという形での趣旨採択となりました。受理番号85号の要望書は、河川砂防等の事業は災害防止と地域住民の安全及び財産の保全等の視点から必要不可欠な事

業であり、適切な財源確保が図られる容易な補助金の削減があつてはならないことから、趣旨採択としました。三位一体改革と農林水産関係国庫補助負担金改革に関する要請書では、農業、農村の持続的発展のためには国の農業関係補助金は不可欠であり採択、WTO・FTO交渉に関する陳情では、各国の農業の共存と食料自給向上が可能な



▲村道南内出線

貿易ルール実現など必要であることから趣旨採択、食料農業農村基本方針見直しに関する陳情は農業の発展再生につながることから趣旨採択としました。

村道椽久保線道路拡幅工事の陳情の件は、現地精査をしたところ、椽久保集落の幹線道路であり、施工同意書もあること、また村道南内出線道路拡幅及び側溝布設替工事の件については、道路縦断勾配が急峻で幅員狭



▲村道椽久保線



▲村道中泉線

く、側溝も24cmと狭いので審議の結果、それぞれ採択としました。村道中泉線道路舗装工事の陳情の件は以前に排水工事をした時の経緯もあり施行面で検討の余地があることから継続審査することとしました。



ここが聞きたい

# 村の姿勢を問う!



高橋幸一郎議員



## 「行政区ごとの地域自治計画策定について」

Q

昭和村と同じように自主自立を決定した片品村は本年度、群馬県が呼びかけてスタートした小さな自治推進により、住民主導で独自の地域自治計画を策定する方針を決定しました。きめ細かく地域の課題を拾い、満足度の高い行政を実現するとともに要望中心から主体的に行政にかかわる住民意識を育て自分たちのことは自分たちで

やるを基本に、区長を中心とした新たな組織と村当局が地域の事情に合わせた計画づくりを進めたいとしています。タイミング良く本村においても第4次総合計画が策定されている状況下ではありますが、小さな自治という地に足ついたこの地域自治計画の精神を生かし、活力と夢のあるむらづくりが必要と考えますが。

A 村 長

国の三位一体の改革の中で、今後村としても、住民と行政の協働による村づくりが望まれます。「小さな自治」支援事業を実施している高崎市、榛名町、片品村の状況をよく調査研究し、住民自治向上のための方策を検討していきたいと考えます。

## 「河川敷の総合利用計画について」

Q

片品川沿いに日本一の河岸段丘を有する昭和村ですが、河川敷の総合的な利用計画については、非常に遅れていると言わざるをえません。幸いにも昭和村には片品川が美しい景観を残してくれました。この素晴らしい自然の川を村民はもとより訪れる人々が散策し、日々の喧噪からはなれ、疲れた心を癒したり、子どもたちが自然観察ができ、安全に水遊びを学べる水辺と景観の整備を行うことが、本村へのふるさととしてのより一層の愛着を育て、子どもたちが大人になった時に本村への定住につながると思います。河川事業は国、県の管理下にありますが、環境という視点で考えれば村長としてできる事業も沢山あると思うが。

A 村 長

本村では美しい魅力ある村づくりに資することを目的に平成10年度に「昭和村景観形成基本計画」を策定し、河岸段丘や川の位置付けは非常に重要視されております。環境を考えた河川整備を考えた場合、未整備であることは確かであり、今後、関係各省庁の協力、連携をいただきながら河川の利用計画を具体的、段階的に整備の実現に向けて進めていきたいと思っております。

## 「行政サービス向上のため窓口業務の延長を求める」

Q

11月17日に太田市において清水市長と埼玉県志木市の穂坂市長の鼎談の中で、両市とも常に住民の立場に立って全職員が一丸となり質の高い行政サービスの提供をコスト意識を重視して行っています。「職員が変わればまちは変わる」と断言しています。昭和村においてもまったく同様なことが言えると思います。その第一歩として業務時間内に利用できない村民のために朝夕の窓口業務の延長を求めます。役場はあくまでもサービス産業であると考えますが村長の考えは。

A 村 長

職員の意識改革につきましては、私が就任をしまして5年目を迎えるわけでありませうけれど、大きな重要課題であると認識しています。今後よく検討していきたいと思っております。



林 幸司議員

## 中越大地震の教訓から防災計画見直しを コンニャク日本一の村づくりについて問う

**Q** 昭和村地域防災及び震災計画の見直し、住宅の耐震診断・耐震補強施策、役場庁舎の地盤調査、重要データの震災対策について伺いたい。

**A** 村 長

地震は、予知が困難で行政にも限界があり、村民が自分たちの地区は自分たちで守るという連帯も重要。平成13年に作成した計画については、関係機関の指導を仰ぎながら検討・見直します。

個人住宅の耐震診断補強については、制度計画とも未整備の状態であり、住民意識の向上が重要な課題です。兵庫県や神戸市のように診断経費補助制度を実施している自治体もあり、群馬県では専

門職を対象に耐震関係研修を実施する計画です。今後、県の動向等を考慮しながら本村の対策に鋭意努力して参りたい。

役場庁舎が災害対策本部の機能を果たせるよう地盤状況調査を実施したいと考えております。

重要データについては、すべて役場地下サーバ室に保管されています。耐震設計ではありませんが、データのバックアップ保存をしています。

### 「食料・農業・農村基本計画」改定への対応は

**Q** 改定内容は、9割以上の農家が切り捨てられ、規模拡大した「担い手」農家にも過酷な競争を強

いるものであり、新鮮で安心安全な食料の自給率向上にも逆行する内容です。そこで食料自給率の現状認識、小規模農家も重要な担い手であると考えますが、見解を伺います。

**A** 村 長

食料自給率40%は欧米諸国と比較しても非常に低く、大変憂慮しており、緊急に取組むべき課題であると認識しています。

また、「担い手への施策の集中」についてですが、ご指摘のように現在の農業は、中小規模農家が大事故な担い手として成り立っているのが現状であり、重要な役割を果たしていると考えております。

現段階におきましては、意見の集約段階であり、

今後更に検討されることと思いますが、農業が主幹産業である本村には、大規模経営から小規模経営農家まで混在しており、今回の改定が小規模農家の切り捨てではなく、規模の大小を問わず、均等に農業施策を享受できる計画として改定されることを望むものです。

### 生産量日本一の村づくり推進を

**Q** 豊富な食物繊維で便通を良くし低カロリー、老廃物を体外に排出しコレステロールの上昇を抑制する、カルシウムを豊富に含む優れたアルカリ食品であることや、お肌の保湿効果に役立つセラ

ミドが生玉には大量に含まれています。

このように優れた食品であり、様々な料理に幅広く使えることから、消費量を増やすことが可能であり、昭和村を訪れたり通過する方々にも、もつと「日本一」というイメージを知ってもらえるような宣伝に工夫が必要だと考えます。

そこで、君河原の看板化粧直しと役場付近への設置。料理コンテストでメニューを増やす。飲食店のメニューに加えてもらえるよう取りくむ。村のホームページを改善するよう求めます。

「日本一のこんにゃくの里昭和村」をキャッチ

フレーズとした看板のリニューアルを検討します。来年の昭和の秋まつりでは「こんにゃくアイデア料理コンテスト」の企画を検討しています。

村ホームページについては、8月にリニューアルし、「こんにゃくアイデアレシピ」なども取り入れ、消費者の方へ紹介しています。昭和村の知名度アップへの戦略対策も今後さらに視野に入れて行く所存です。

また、旅館や飲食店等の食材として使って頂けるよう呼びかけて行きたいと考えております。

今後多面的に、昭和村を常にアピールするよう心がけていきますので、良いアイデアがありましたら、ご指導頂きながら前向きに検討していきたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。





# みなさんからの請願・陳情



自 平成16年8月9日 至 平成16年11月30日

受理番号	受理年月日	件名	陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
76	H16.8.9	子どもたちの健やかな成長を保障するために教育諸条件の整備を行い、教育基本法を守り生かすことを求める請願	教育基本法の改悪を許さないぐんまの会 代表 石田 清人	林 幸司	民 文	継 続
78	H16.8.26	「スーパーL資金」農林漁業金融公庫直接融資に関する利子補給のお願い	株式会社野菜くらぶ 代表取締役社長 澤浦彰治 ほか9名	治田 貞賢 高橋幸一郎	産 建	趣旨採択
83	H16.10.4	補助治山事業の継続について	林野庁森林整備部 部長 梶谷 辰哉		産 建	趣旨採択
84	H16.10.22	要請書 保育運営費・施設整備費の一般財源化は保育水準の地域格差を拡大し保育の質の低下をまねくので絶対やめてほしい 等	群馬保育問題連絡会 会長 下出ふじ子		民 文	趣旨採択
85	H16.10.28	要望書 河川・砂防等の事業は災害防止と、地域住民の安全及び財産の保全等の観点から必要不可欠な事業であり、これらの適切な財源確保 等	社団法人群馬県建設業協会 会長 小島秀薫 同 沼田支部 支部長 星野 光		産 建	趣旨採択
86	H16.11.1	要望書「消火栓設置の要望について」	宿 区 長 佐藤 菊良 吹張区 長 中村 充明 第7分団 長 金子 洋一	小野 一男 高橋幸一郎	総 務	採 択
87	H16.11.11	三位一体改革と農林水産関係国庫補助負担金改革に関する要請書	利根沼田農業協同組合 組合長 大嶋 正		産 建	採 択
88	H16.11.15	安全で安心なむらづくりの推進条例の制定に関する要望書	沼田警察署協議会 会長 小林一郎 ほか9名		総 務	採 択
89	H16.11.15	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 小野寺慶吾 利根支部長 宮内 堯夫	林 幸司	民 文	趣旨採択
90	H16.11.24	安全対策に関する要望書	昭和村PTA連絡協議会 会長 諸田 郁夫		総 務 産 建	採 択 採 択
91	H16.11.24	W T O ・ F T A 交渉に関する陳情	食とみどり、水を守る群馬県会議 議長 坂本 棟男		産 建	趣旨採択
92	H16.11.24	「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情	食とみどり、水を守る群馬県会議 議長 坂本 棟男		産 建	趣旨採択
93	H16.11.30	村道椽久保線道路拡幅工事のお願いについて	椽久保区 長 新木 良作 北部地区 会 長 鈴木加保利 南部地区 会 長 南雲 保好	金井 正夫	産 建	採 択
94	H16.11.30	村道南内出線道路拡幅工事及び側溝布設替工事のお願いについて	南内出区 長 林 敏秋 宿 区 長 佐藤 菊良 中宿区 長 加藤 誠	小野 一男 石井 清司	産 建	採 択
95	H16.11.30	村道中泉坂線道路舗装工事のお願いについて	大堀区 長 津久井則雄 田岸区 長 後藤 一雄 滝久保区 長 林 誠一郎 池原区 長 吉澤 和男	横坂 幸也 林 幸司	産 建	継 続



# 議会に臨む



NPO法人清流の会  
理事長 今橋 憲雄 さん  
(滝久保 53歳)

## 「ふるさと」の自然を後世に

村民の皆様におかれましては輝かしい新春を迎え健やかな日々を、お過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃よりNPO法人「清流の会」に格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私たち「清流の会」は昨年の8月に産声をあげたばかりのヨチヨチ歩きの団体です。これからは多くの皆様を支えていただきながら早く独り立ちができるよう会員一同、心を一つにし頑張っていきたいと思っております。

「清流の会」は環境保全の推進等に関する事業を行い、地域住民に寄与することを目的とし、現在36名の会員

と共に「地域の環境づくり」や「仲間づくり」に微力ではありますが努力しているところがあります。

昨年は豪雨や台風の多発に加え新潟中越地方の地震等多発する災害に多くの人が絶望感を味わいました。これらの災害も環境問題が大きく関わっていると

私たち科学者もいます。私たちは科学というものを過信しすぎたかもしれません。社会に大きな波紋を投げかけている犯罪の低年齢化も根底には生活の自然離れが影響しているのではないかとさえ考えています。

昭和村は幸いにして基幹産業が農業のため多くの自然が残されています。しかし農業の

合理化のために自然に負荷をかけすぎてしまった部分もあると思われまます。その一つの現象として、私たちが子供のころごく普通に見られたホタル・蝶の乱舞やトンボ等身近な小動物が年々少なくなり現在は限られたところでのしか棲息できないような環境になってしまいました。

私たちは残された環境を保全すると共に多くの生物が棲息できる環境を整備し、少しでも多くの人々に自然に接する機会を提供し「夢」を共有できるように頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻下さるようお願い申し上げます。

最後に村民の皆様の方福多幸をお祈り申し上げます。



# 議会のうごき

## 10月

- 2日 第1保育園運動会  
子育保育園運動会
- 3日 第7回昭和の秋祭り
- 4日~5日 正副議長・正副常任委員長・事務局 局長会議
- 6日 議会広報編集特別委員会  
岩手県下閉伊郡田野畑村議会視察受入
- 7日 特別養護老人ホーム「菜の花館」安全祈願祭
- 8日 第25回村民チャリティーゴルフ大会
- 10日 昭和村消防団秋季点検視察
- 14日 昭和村国際農業交流協議会  
10周年記念式典

- 15日 議会広報編集特別委員会
- 16日 ねんりんピックぐんま開会式
- 17日 チャリティー舞踊発表会
- 18日 議会全員協議会  
村づくり協力委員会と懇談会

## 11月

- 3日 村民バレーボール大会
- 6日 NPO法人清流の会 発会式
- 8日 昭和村消防団第1分団全国消防ポンプ車操法競技大会(横浜市) 出場激励
- 11日 産業建設常任委員会村内道路愛護巡視
- 17日 全国町村議会議長大会(日本武道館) 鼎談「規制改革を考える」(太田市)

- 21日 沼田市制50周年記念式典
- 22日~23日 昭和村文化祭
- 25日 議会運営委員会視察(吾妻町議会・長野原町議会)
- 29日 榛東村議会視察受入

## 12月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 議会全員協議会
- 8日~16日 12月定例会
- 17日 村づくり対策特別委員会
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 24日 第1回昭和村第4次総合計画審議会

**編纂室から**

「災」という字で表された昨年は、台風・地震・大津波など日本、世界で天変地異による大きな災害が発生し、あらためて自然の力に驚かされた一年でした。

「寒い冬の年は豊作」と言われますが、雪の元日を迎えた今年こそ、良い年で表される年でありませぬ。

早いもので、私たち議員は2年間で経過し、12月定例会で吉野議長が勇退され、議会上初めて正副議長の交替、全ての委員会の構成の総入れ替えが実現しました。

すでに自立を決めている昭和村ですが、全議員が一丸となって「自立する村づくり」のためにがんばっていききたいと思っております。

尚、今回から議会だよりは私たちが担当することになりましたが、1人でも多くの村民の皆様にご覧いただける誌面づくりに心がけて行く所存です。ご意見等寄せていただければ大変ありがたいと思います。

初次記

とじておくくと便利です